

～経営陣・監査対象部署から信頼される内部監査のやり方／勘どころ～

# 内部監査の現場で生きる 現場力スキル養成講座

個別監査の各段階のポイント・陥りやすい失敗など事例を交えながら解説していきます。

◆開催要領◆

●日 時● 2017年 9月 29日(金) 13:30～17:00

●会 場● 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

**ご発表者** 有限責任監査法人トーマツ 金融インダストリーグループ シニアマネジャー 城 隆洋 氏

地方銀行(金融持株会社兼務)を経てトーマツ入社。地方銀行勤務時代にコンプライアンス部門を経て、支店長・監査部長等を歴任。不祥事件対応の実務経験あり。不祥事防止策等の仕組みの策定、支店経営の中でのルールへの運用、不祥事防止のための内部監査の実効性確保と、第三者の立場の実務経験を活かして内部監査等の高度化支援に取り組む。公認内部監査人(CIA)、内部統制評価指導士(CCSA) 金融内部監査士、情報セキュリティアドミニストレータ。

**ご発表者** 有限責任監査法人トーマツ 金融インダストリーグループ 公認内部監査人 長 野 泰 明 氏

有限責任監査法人トーマツ入社後、監査部門にて一般事業会社の会計監査、J-SOX 対応等に従事。その後、金融インダストリーグループにおいて、国内大手銀行や外資系金融機関に対して内部監査態勢の外部評価、実施支援、リスク管理高度化に対するアドバイス、バーゼルⅢ対応支援、金融機関の国際規制対応、海外進出支援等、金融機関向けコンサルティング業務に従事。公認内部監査人(CIA)。

◆ご参加頂きたい方◆

内部監査部門等に所属され、内部監査実施に関連した現場力スキルを向上したい方

●受講料 ●1名(税込み、資料代 含む)

正会員	32,400円(本体価格 30,000円)
一般	35,640円(本体価格 33,000円)

- 正会員の登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当会ホームページでご確認いただけます。  
( [TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問] )
- お申込み後(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、予めご了承ください。
- 申込書をご送信頂く際はFAX番号をお間違えないようご注意ください。

一般社団法人企業研究会

担当: 鈴木 E-mail a-suzuki@bri.or.jp

東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3513

FAX 03-5215-0951

**申込方法** 当会ホームページよりお申込みいただくのが便利です。

\*ホームページ(https://www.bri.or.jp)よりお申込みください。



171500-0202	2017.09.29	内部監査の現場で生きる現場力スキル養成講座	
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-Mail			
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-Mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

## 【開催にあたって】

## 内部監査人にとって最も重要なことはなんですか？

それは、経営陣や監査対象部署から信頼されることだと思います。しかし、経営陣から「内部報告書が期待しているような内容までに至っていない」、また、監査対象部署からは内部監査部門は、「まるで自分たちの敵のように感じる」「重箱の隅をつつくような指摘しかしない」などと指摘される事も少なくないと思います。そこで、本セミナーでは、どうすれば経営陣や監査対象部署から信頼される監査を実施できるのかを分かりやすく解説いたします。

具体的には、今後、個別監査の実務を任される監査員の方などを対象に、個別監査の①事前準備段階、②往査段階、③報告段階、④フォローアップ段階の各階におけるポイントや陥りやすい失敗など、事例も交えながらイメージがわくように解説していきます。

また、②往査段階の際に必要な「インタビュー」、「ロジカルシンキング」及び③報告段階で必要となる「プレゼンテーション」などソフトスキルについても解説していきます。

## 1 内部監査概要

## (1) 内部監査の目的とは何か

- ・内部監査の目的とは
- ・内部監査に求められる2つの役割 (Whistle Blower と Trusted Advisor) とは

## (2) 内部監査部門と経営陣・監査対象部署との関係性は

- ・経営に資する内部監査とは、具体的にどのような監査なのか
- ・何が監査対象部署と内部監査部門の阻害する壁なのか その処方箋について検討する

## 2 個別監査の実践

## (1) 個別監査の全体像を俯瞰する

- ・個別監査の一般的な流れについて解説する

## (2) 事前準備段階：内部監査の成功は、事前準備段階で大部分が決まる

- ・監査を失敗しないための方法について解説する

## (3) 往査段階：往査段階で監査対象部署との信頼関係を得るには

- ・信頼関係を得るための「インタビュー」のやり方について解説する
- ・「ロジカルシンキング」を駆使した真因分析のやり方について解説する
- ・監査調書の記載方法について解説する

## (4) 報告段階：報告段階で経営陣や監査対象部署から感謝されるには

- ・監査対象部署と発見事項の合意を得るための「プレゼンテーション」のやり方について解説する
- ・付加価値のある内部監査報告書の作り方について解説する

## (5) フォローアップ段階：内部監査は監査報告書の提出で終わらない

- ・フォローアップで何をするかを具体的に解説する

## 講師

有限責任監査法人トーマツ 金融インダストリーグループ シニマネジャー 城 隆 洋 氏  
有限責任監査法人トーマツ 金融インダストリーグループ 公認内部監査人 長 野 泰 明 氏